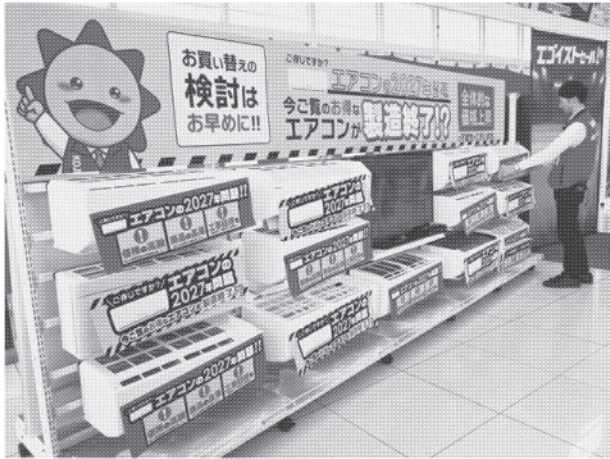


中学生向け 年組

2026年5月31日付・下野新聞3面



エアコンの「2027年問題」を知らせる家電量販店のコーナー
＝25日午後、宇都宮市今泉町

省エネ基準、価格も引き上げ

エアコンの省エネ基準が2027年度から大幅に引き上げられることに伴い、県内の家電量販店では購入の需要が高まっている。新基準の機種よりも安価な現行基準の機種の品薄を懸念し、今のうちに買い求める動きが活発化しているためだ。一方、新基準に適合した機種は光熱費の削減が期待でき、購入に補助金を出している市町もあることから店側は業界全体の(A)と捉え、(B)や案内を強化している。

(竹内美鈴)

エアコン商戦 県内熱く

「27年問題」で需要増

「売り上げは全ての店舗で前年度と比べ平均で1・8倍、店によっては2倍に伸びている」。同市元今泉3丁目の「YAMADA web.com 宇都宮本店」の鷹嘴哲也店長(39)も影響の大きさを実感している。

買い替えなどの問い合わせも2～3倍に増えてお

エアコンは家庭の消費電力の約3割を占めており、国は光熱費削減や脱炭素推進のため27年度から、省エネの目標を引き上げる。省エネ性能が低い安価モデルの減少や、在庫の品薄を不安視する動きは「2027年問題」と呼ばれている。

宇都宮市の「コジマ×ピックカメラ宇都宮本店」は、23日から3日間の予定で特売セールを展開した。現行基準の機種を中心に、セール対象の商品は24日のうちに完売する盛況ぶりだった。

「名古屋啓店長(44)は「新基準と、現行の安価モデルを比べると6畳用で6万～20万円ほどの差がある」と説明する。一方、省エネ機種の購入に対して補助金を出している自治体もあるため「市場全体が好調」と歓迎する。

「省エネ機種のメリットの案内も強化している。現在使っているエアコンが使えなくなるわけではないが、部品がある限り修理にも対応できるとし「各家庭の使用状況を冷静に見極め

り、省エネ機種のメリットの案内も強化している。現在使っているエアコンが使えなくなるわけではないが、部品がある限り修理にも対応できるとし「各家庭の使用状況を冷静に見極め

て買い替えを判断してほしい」と呼びかけた。資源エネルギー庁によると、新基準の製品は、10年度に定められた現行基準より6畳用で年間約27600円、14畳用で約1万2600円の削減が期待できる。

同店で新基準の機種を購入した同市松風台、パート従業員齊藤啓二さん(68)は「安いモデルを探していたが、省エネ性能が高いと

光熱費が安くなると聞き、今年も暑くなるし、せっかくならいいものを買おうと思った」と満足をうたった。

記事は加工しています

設 問

【1】エアコン購入の需要が高まっているのはなぜですか。

【2】記事中のAには「コウキ」、Bには「シュウチ」と読む熟語が当てはまりません。漢字で正確に書きましょう。

【3】記事の内容に合っている選択肢を二つ選びましょう。

ア 「2027年問題」に伴い、26年以前に購入したエアコンは、修理をしなくては使用できなくなる。

イ 「2027年問題」に伴い、エアコンの本体価格は低下

することが見込まれる。

ウ 新省エネ基準に当てはまるモデルは、光熱費の削減が期待できる。

エ 新省エネ基準を満たすモデルの購入のための補助金は、全ての市町が出しているわけではない。

【4】次の語の対義語の記事から抜き出しましょう。

ア 供給

イ 高価

【5】外来語「エアコン」は省略語です。元の語は何でしょうか。